

第109期

株主の皆様へ

自2024年4月1日 至2024年9月30日

中間

特集

アサヒスマートカラー

持続可能なパッケージ構造の発明

新任社外取締役紹介



次なるステージへの挑戦 包装の価値創出により 選ばれる企業へ

代表取締役社長 朝日 重紀



Q

2024年度中間期の業績と通期の見通しを教えてください。

2024年度中間期の業績は、印刷包材において前年同期にアフターコロナを背景とした大幅な受注の増加等があった影響により、前年同期比では印刷包材の受注は減少したものの、包装システム販売事業が好調に推移したことや、マレーシアの印刷会社キンタ社を連結子会社化したことにより、売上高は、216億56百万円（前年同期比3.7%

増）、国内印刷包材事業の減益により、営業利益は、12億85百万円（前年同期比2.3%減）、経常利益は、13億90百万円（前年同期比2.2%減）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、10億75百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

通期の見通しにつきましては、生産効率向上によるコスト削減や前年度に実施した価格改定の効果に加え、キンタ社の連結子会社化による売上寄与により、3期ぶりの増収増益を見通しており、当中間期間においては、概ね計画通りに進捗しております。



中期経営計画AX2024の進捗と今後の方針について教えてください。

AX2024は、今年度が最終年度となりますが、期初に公表のとおり、計画当初の目標対比で売上高は達成見込みの一方で、営業利益率は未達での着地を見込んでおります。このような状況の中で、収益性の改善を最優先に、下期以降もAX2024の5つの事業戦略「市場深耕拡大」「付加価値最大化」「ワークエンゲージメント」「海外事業推進」「経営資源活用」を着実に実行し、今年度計画の達成および次期中期経営計画の基盤構築を強力に推進してまいります。また、今後、環境に配慮した製品や開発品への注力、省力化・少人化や工程統合を可能とする設備への投資をはじめとした、付加価値の創出や生産効率の向上を推進することで、売上に左右されない利益体質の強化に向け邁進してまいります。



11月にリリースされた「政策保有株式の縮減に関するお知らせ」について教えてください。

当社は、これまでコーポレートガバナンス・コードの趣旨に基づき、政策保有株式について個別銘柄ごとに、保有の適否を定期的に検証し、縮減を進めてまいりました。この度、資本効率の向上と財務体質の強化を目的に、一層の政策保有株式の縮減を推進することといたしました。なお、今回の計画期間以降についても、さらなる政策保有株式の縮減に向け、継続的に検討してまいります。

計画の内容

対象	政策保有株式として保有する上場株式
期間	2024年度（今年度）から2026年度末まで
縮減目標	30%縮減（約13億円）※2024年3月末時価ベース

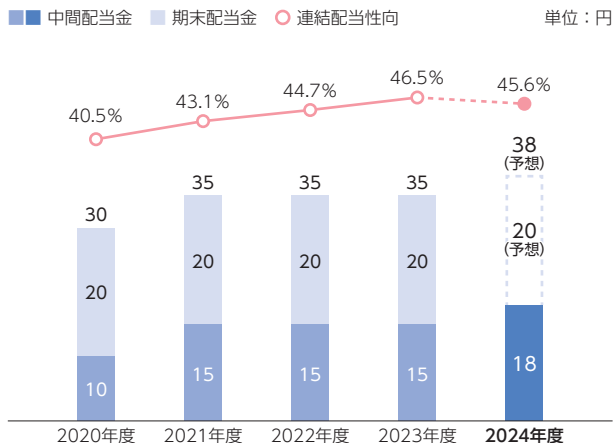


株主還元について教えてください。

株主の皆様への安定的な配当の継続を基本としつつ、これに加え業績に応じた成果の配分を実施し、「連結配当性向40%以上」を掲げております。2024年度の間配当は、2023年度中間配当から3円増配となる1株につき18円とさせていただきます。期末配当予想は1株あたり20円としており、年間配当予想は38円となります。

今後も資本効率と財務健全性等を勘案しながら、引き続き株主還元の充実に努めてまいります。

1株当たり配当金の推移



アサヒスマートカラー

環境に配慮した印刷技術で、

サステナブルなモノづくりを実現する



アサヒスマートカラー

アサヒスマートカラーの特長

- 最大6色のプロセスインキで印刷する事で特色を使わずに鮮やかな色を表現できます。
- 印刷後に多くの廃棄物が発生する特色印刷の代わりに選択して頂く事でパッケージ製造時の環境負荷を低減できます。
- バイオマス度10%のインキを使用しているためバイオマスマークを表記することができます。

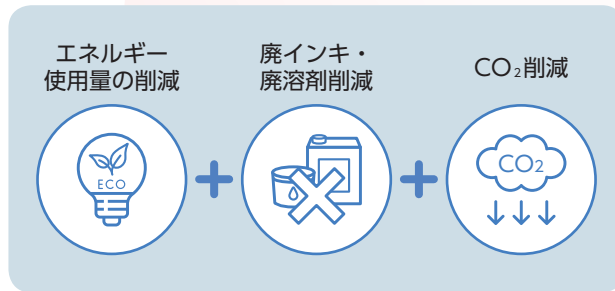


国内では環境負荷を低減するため、大手製薬メーカーを中心に医療用医薬品パッケージの印刷方式を特色印刷(*)から、海外で一般的なプロセス印刷(**)に変更する動きが広がっています。当社はこの流れに対応し、環境負荷を抑えながら特色印刷とかわらない高品質な印刷を実現する「アサヒスマートカラー」を導入しております。

※特色印刷…特定の色を専用インキで表現する印刷方式。特殊色を正確に再現できるが、製品1点ごとに色替のための機械洗浄が必要となる。

※プロセス印刷…主にCシアン、Mマゼンタ、Yイエロー、K黒の4色を組み合わせで色を再現する印刷方式。色替のための洗浄作業が限定的で廃インキ・廃溶剤は最小限の発生で済む。

プロセス印刷に変更することにより期待される効果



当社は今後も持続可能な社会の実現に向け、環境に優しいモノづくりを推進していきます。

持続可能なパッケージ構造の発明

激変する市場で新たな創出を

当社は、印刷と包装のプロフェッショナルとして、競合他社との差別化を図るために研究開発に注力し、市場への迅速な製品投入を目指しております。ここでは、社会課題に対する取り組みをリードする企画開発部門の社員の声をお届けします。



製品企画部コスト課 広川 園恵

POP部分が一体化したパッケージ

POPラベルレスによりプラスチック使用量を削減しています。また、POP部分を後から起こせる設計のためかさばりにくく、梱包資源の削減に繋がります。

開発者の声

他部署と連携して完成したパッケージです。市場調査によるテーマ化から開発が始まり、製造工程上の問題は生産現場の方からアイデアをいただきながら解決しました。

企画から営業、製造まで行う朝日の強みが活かされたパッケージだと思います。



冊子状の表示部を備えたパッケージ

冊子状の構造による記載可能スペースの広さと直感的な読みやすさに加え、取り出しやすさも兼ね備えています。パッケージに表示できる情報量が増えたことで同梱していた説明書の削減ができ、製造工程と資材管理の効率化に繋がります。

開発者の声

今回のパッケージで困難だった点は、お客様の従来の設備で包装可能でありながら、冊子状の構造というこれまでに無い機能を持たせることでした。開発チームで意見を出し合い改善を重ねて実現したパッケージです。



製品企画部コスト課 中道 薫

新任社外取締役紹介

2024年6月の定時株主総会で選任された、社外取締役をご紹介します



社外取締役

鮎川 裕美 Yumi Ayukawa

■ 経歴

- 1990年4月 味の素（株）入社
- 2015年7月 同社アミノサイエンス統括部
スタッフグループ長
- 2017年7月 味の素ヘルシーサプライ（株）
取締役執行役員総務部長
- 2022年6月 味の素トレーディング（株）取締役
- 2024年6月 朝日印刷（株）取締役現職

本年6月、朝日印刷株式会社取締役として選任いただきました鮎川裕美と申します。

就任以来、取締役会を始めとする会議出席や事業所訪問等を通じ、多くの従業員の仕事ぶりに触れました。そこで印象的だったのは、誠実さや丁寧さ、美意識やクリエイティビティ、より良いものを創りたい、広げたいというチャレンジ精神でした。オフィスや工場的美しさや清潔さも特筆に値します。その根底には、「健康」や「美」に関わるプロダクトを包むという事業への誇りと責任感があると思われる。こういった社風や文化が、今後も朝日印刷株式会社の成長の礎であり続けると確信いたします。

さて、朝日印刷株式会社が次の50年、100年へと進むにあたり、経営リーダーシップによる更なる進化が欠かせません。その一例が「多様性」への変容です。変化が速く激しい時代となり、限られたメンバーの知、過去の成功体験では通用しなくなりつつあるためです。そこで必要なのは「集合知」です。ジェンダー、年齢、経験、関心といった違

いが認められ存分に発揮されること、多様な個の多様な発想が掛け合わされることによって、会社の新たな挑戦に繋がっていくでしょう。社内の活力が社外へ伝われば、可能性を信じていただき選んでいただける会社であり続けるでしょう。「多様性」実現に向けては表面的な短期戦ではなく、一人一人の意識や組織文化に訴えかける持久戦が求められます。効果的に取組みがスタートし加速できるよう、心を込めて、バックアップしてまいります。

社外取締役の役割は、「不易流行」の精神に照らしますと、社外出身だからこそ気付く朝日印刷株式会社の根源的な強みを伝え励まし続けつつ、株主様を始めとする多様なステークホルダーの視点と自身の経験に依って立ち、新しい風と力を送り込むことと存じます。企業価値向上に資するために、どんな経営課題に対しても貢献出来るよう精進する所存ですので、株主様におかれましては、一層のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

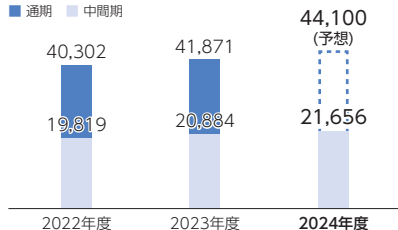
連結業績ハイライト

売上高

216億56百万円

前年同期比 3.7%増 

単位：百万円
■ 通期 ■ 中間期

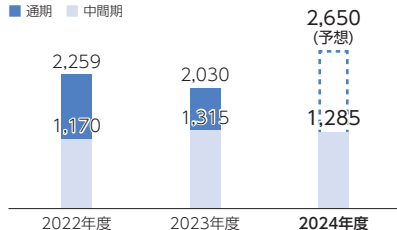


営業利益

12億85百万円

前年同期比 2.3%減 

単位：百万円
■ 通期 ■ 中間期

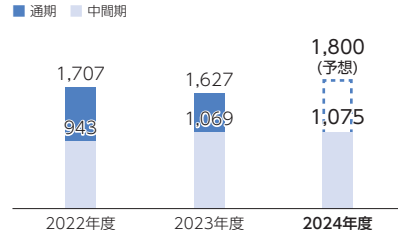


親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

10億75百万円

前年同期比 0.5%増 

単位：百万円
■ 通期 ■ 中間期



セグメント別業績

印刷包材事業


売上高

20,289百万円

前年同期比2.6%増 

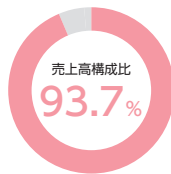
セグメント利益

4,928百万円

前年同期比4.6%増 

上半期のPoint

- 国内：医療用添付文書の電子化による医療用医薬品の受注減少
前年同期にはアフターコロナを背景とした受注が大幅に増加した影響により、当中間期は受注減少
- 国外：堅調な受注状況。マレーシア印刷会社シンタ社を連結子会社化したことにより増収増益



包装システム販売事業

売上高

1,105百万円

前年同期比29.9%増 

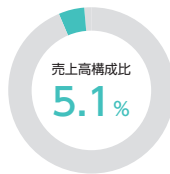
セグメント利益

177百万円

前年同期比18.9%増 

上半期のPoint

- 省人化機械ニーズの高まりにより、堅調な受注で推移



人材派遣事業

売上高

261百万円

前年同期比4.3%増 

セグメント利益

64百万円

前年同期比8.7%増 

上半期のPoint

- 富山県内各地での求人相談会の実施
- 新規のお客様との取引強化





会社情報

会社の概況 (2024年9月30日現在)

会社名 朝日印刷株式会社
 本社所在地 〒930-0061
 富山県富山市一番町1番1号
 一番町スクエアビル
 創業 1872年
 設立 1946年5月
 資本金 2,228百万円
 従業員数(連結) 1,875名
 (有期社員・パートおよび派遣社員は除く)

役員 (2024年9月30日現在)

取締役・監査役

代表取締役会長	朝日重剛
代表取締役社長	朝日重紀
取締役副社長	広田敏幸
常務取締役	野村良三
常務取締役	佐藤和仁
取締役	西田良弘
取締役	塚田武郎
取締役	佐々木昌太
取締役	若林和人
取締役(社外)	高田直
取締役(社外)	水波悟美
取締役(社外)	鮎川裕
常勤監査役	広瀬丈嗣
常勤監査役	神島丈泰
監査役(社外)	桶屋三彦
監査役(社外)	古澤昌彦
監査役(社外)	釣長人

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 86,000,000株
 発行済株式の総数 22,890,829株
 1単元の株式数 100株
 株主数 5,519名



2024年12月7日(土)
 個人投資家向けIRセミナー Zoom ウェビナー

当日の説明動画はこちらから
<https://finance.logmi.jp/companies/304>



表紙：製品企画部デザイン課
 深谷 愛

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 配当金 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 基準日 定時株主総会については3月31日。そのほか必要ある時はあらかじめ公告いたします。
 公告方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL <https://www.asahi-pp.co.jp/>
 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

上場取引所 東京証券取引所スタンダード市場
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
 株式事務のお問い合わせ先 みずほ信託銀行 証券代行部
 ホームページ <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>
 フリーダイヤル 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

**株主の皆さまの
声をお聞かせください**

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
 アクセスキー入力後に表示される
 アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 3951zW6M



スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは株式会社アインターウエイ
の登録商標です。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお願いは「コエキク事務局」
koekiku@pronexus.co.jp

ご回答いただいた方の中から
 抽選で薄謝を贈呈させていただきます。

